

オアシススケッチ

Oasis sketch

●今年も大盛況「わくわく Agu フェスタ」



〈来場者でにぎわう会場〉

子育て世代を中心にした町民交流事業「わくわく Agu フェスタ」が11月15日、勤労福祉センター（エスペランス丸山）でありました。多目的ホールでは、ママたちが心を込めて手作りしたグッズや町内のお店や団体の品物が並び、来場者は気に入った品物を買って求めています。今回から学生ボランティアを小学生から高校生までの子どもたちから募集。応募した子どもたちは、大人顔負けの働きぶりでした。お年寄りの方が担当した伝承遊びコーナーも多くの子もたちでにぎわいました。赤ちゃんからお年寄りまでさまざまな年代の町民が楽しく交流することができました。

●朝から元気にあいさつ運動



〈あいさつをしながら啓発物品を配る児童たち〉

秋の幼保小中高一斉あいさつ運動が11月18日から24日まで行われました。初日となった18日には、阿久比駅で南部小学校の児童、園や学校関係者などがのぼりなどを持ち、通勤・通学する人たちにあいさつをしました。18日は町で推進しているノーマディアデーでもあり、愛知県が行う「スマホ・ケータイの使い方を考える教育キャンペーン」のティッシュの配布も行いました。期間中は駅以外にも町内の全園・学校やその周辺でもあいさつ運動が行われ、町中であいさつの声が響きわたりました。期間中あいさつ運動に協力してくださった皆さんありがとうございました。

シリーズ食育②

阿久比町食生活改善推進員連絡協議会の取り組みについて～わくわく♪モグモグ教室～

親子で一緒に簡単な食事を作って、楽しく食べる「わくわく♪モグモグ教室」が10月7日、オアシスセンターでありました。阿久比町食生活改善推進員連絡協議会が食に関する意識の向上を図ることを目的に開いたこの教室には、町内の就園前の幼児とその保護者合わせて38人が参加しました。今回の献立は、チョコで本格ハッシュドビーフ、さわやかヨーグルトサラダ、ヨーグルトゼリーのブルーベリーソース添え。参加した親子は協力して食事を作り、楽しく会食していました。今回の料理教室は、参加者の食に関する意識を高め、親子の良いふれ合いの場となったようです。



阿久比町食生活改善推進員連絡協議会の方にインタビュー

- ①この教室を開催してよかったと思ったときは？
参加した親子が、自分たちで作った食事を全部食べてくれた時。2、3歳児は好き嫌いがはっきりしているので、いつもハラハラドキドキします。
- ②この教室を通して伝えたいことは？
食材を触って、洗って、切って、炒めて食べる

までの過程を体験して、親子で作って食べる楽しさを味わってほしいです。

- ③この教室の今後の取り組み内容については？
火や包丁を使うので、ケガのないよう注意するとともに、幼児向けの調理方法や献立を考えていきたいです。
- ④親子で簡単に作れるオススメの料理は？
お好み焼きは、前日の残り物のリメイクにもなり、フライパン1つで野菜がたっぷりとれます。また、白玉粉を水で練って団子に丸め、1～2分ゆでてあんをからめるおやつもオススメです。



「わくわく♪モグモグ教室」の様子